

第302回

日文研フォーラム

講師◎龔穎

中国社会科学院哲学研究所 研究員 / 日文研 外国人研究員

中国近代心理学の先駆け、

陳大斉の日本留学とそれから

——小秀才から教育者へ

コメンテーター◎伊東貴之
日文研教授

司会◎佐野真由子
日文研准教授

2016年7月12日(火)

十四時～十六時(開場十三時四〇分頃)

ハートピア京都3階大会議室

入場無料

先着一八〇名申込み不要

主催：大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター

International Research Center for Japanese Studies

The 302nd Nichibunken Forum



日文研フォーラム

中国近代心理学の先駆け、

陳大斉の日本留学とそれから

——小秀才から教育者へ

Pioneer of Modern Psychology in China

-Daji Chen's Study in Japan and Beyond:

From Clever Boy to Educationalist

陳大斉（一八八七—一九八三年）、字は百年。

中国における近代心理学の先駆者として著名

なこの人物は、一九〇三年から一九二二年まで

の若き日を、留学生として日本で過ごしました。

中国に戻ったのち、北京大学の教授、代理総長、

一九四九年からは台湾大学教授、政治大学教

授兼総長を務め、中国で初めての心理学実験

室の創設や、心理学教科書の編著、教育制度

の整備などの面で業績を残しました。

本講演では、陳大斉の日本留学の実情とその

後の彼の活躍ぶりを考察します。明治末期にお

ける清国留学生を一人一人具体的に取り上

げ、研究することの、両国の歴史にとつての意義

そしておもしろさをお伝えできればと思います。

講師 **龔穎** きょう えい

中国社会科学院哲学研究所 研究員／日文研 外国人研究員



2000年3月、東北大学文学研究科博士課程修了。博士（日本思想史・東北大学）。2013年8月より中国社会科学院哲学研究所研究員、2015年8月より国際日本文化研究センター外国人研究員を併任。

専門分野は、日本思想史。主な著書に「似而非」的日本朱子学—林罗山思想研究（学苑出版社、2008）、訳書に溝口雄三著『中国前近代思想的曲折と展開』（三联书店、2011）、近年主要論文に「蔡元培与井上哲次郎『本务论』思想比较研究」（『中国哲学史』、2015）、「清末留日学生と中国における近代心理学の受容」（『倫理研究所紀要』24号、2015）、「接受与转化：近代日本伦理学史上的人格观念」（『哲学動態』、2013）などがある。

コメンテーター **伊東 貴之** 日文研 教授



1986年早稲田大学政治経済学部卒、1988年同・第一文学部東洋哲学専修卒、1996年東京大学大学院人文科学研究科中国哲学専攻博士課程修了。博士（文学・東京大学）。武蔵大学人文学部日本・東アジア文化学科教授などを経て、2010年より現職。

専門分野は、中国近世思想史、日中比較文学・思想、東アジア文化交流史。主な著書に『思想としての中国近世』（東京大学出版会、2005）、「中国という視座」（溝口雄三・伊東貴之・村田雄二郎共著、平凡社、1995）、編著に「心身／身心」と環境の哲学—東アジアの伝統思想を媒介に考える（汲古書院、2016年）、著書の翻訳に『中国近世思想的典範』（楊際開訳・徐興慶校閲、台湾大学出版中心、2015）などがある。

日文研フォーラムとは

国際日本文化研究センター（日文研）が、来日中の外国人研究者による日本研究の成果を市民の皆さまにご紹介し、共有していただくことを主な目的とする催しです。

1987年の設立以来、月1回のペースで、京都市中心部の会場で継続的に開催しています。

お問い合わせ先

国際日本文化研究センター 研究協力課

〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3-2

TEL: 075-335-2078

<http://www.nichibun.ac.jp/ja/>



京都府立総合社会福祉会館 **ハートピア京都**

【アクセス】

- ・京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車5番出口（地下鉄連絡通路にて直結）
- ・京都市バス、京都バス、JRバス「烏丸丸太町」バス停下車

第303回 日文研フォーラム 2016年 9月13日（火） 14:00～16:00

講師：アンダソヴァ マラル カザフ国立女子教育大学言語学部（カザフスタン）研究員／日文研 外国人研究員